

土木学会 見える化データ 2024



会員の状況

- ◆会員数の推移
- ◆会員構成
- ◆女性会員
- ◆年齢構成
- ◆業種別会員数
- ◆支部別会員数・属性別構成比

会計

- ◆収支
- ◆会費収入使途

行事

- ◆全国大会
- ◆年次学術講演会
- ◆調査研究行事

刊行物

- ◆論文集（通常号）
- ◆論文集（特集号）
- ◆刊行物
- ◆売上部数ランキング

技術者教育

- ◆土木学会認定土木技術者
申込者・合格者・認定者
- ◆CPD認定プログラム
分野
開催地

広報発信

- ◆記者発表件数
- ◆メディア掲載件数

土木学会SNS



データリスト



作成：企画委員会

https://committees.jsce.or.jp/kikaku/mieruka_index

ご意見は土木学会ホームページの「お問い合わせ」からお送りください

https://www.jsce.or.jp/contact/m_form.asp

土木学会は2024年に創立110周年を迎えた公益社団法人です。個人会員数は約38,000人、その多くはさまざまな産官学の組織に所属する土木技術者です。

土木学会には小委員会を含め400以上の委員会が設置され、多くの学会員が参加して活発に活動しています。

この「見える化データ」は土木学会の活動に関する数値データを整理したものであり、本資料はその一部についてビジュアルに紹介したものです。

開かれた学会としてより良い方向へ発展し続けるため、学会の実態を多くの皆様にご覧いただき、学会の活性化のため忌憚のないご意見をいただけましたら幸いです。



公益社団法人

土木学会

Japan Society of Civil Engineers

土木学会の目的（定款第3条）

学会は、

土木工学の進歩及び

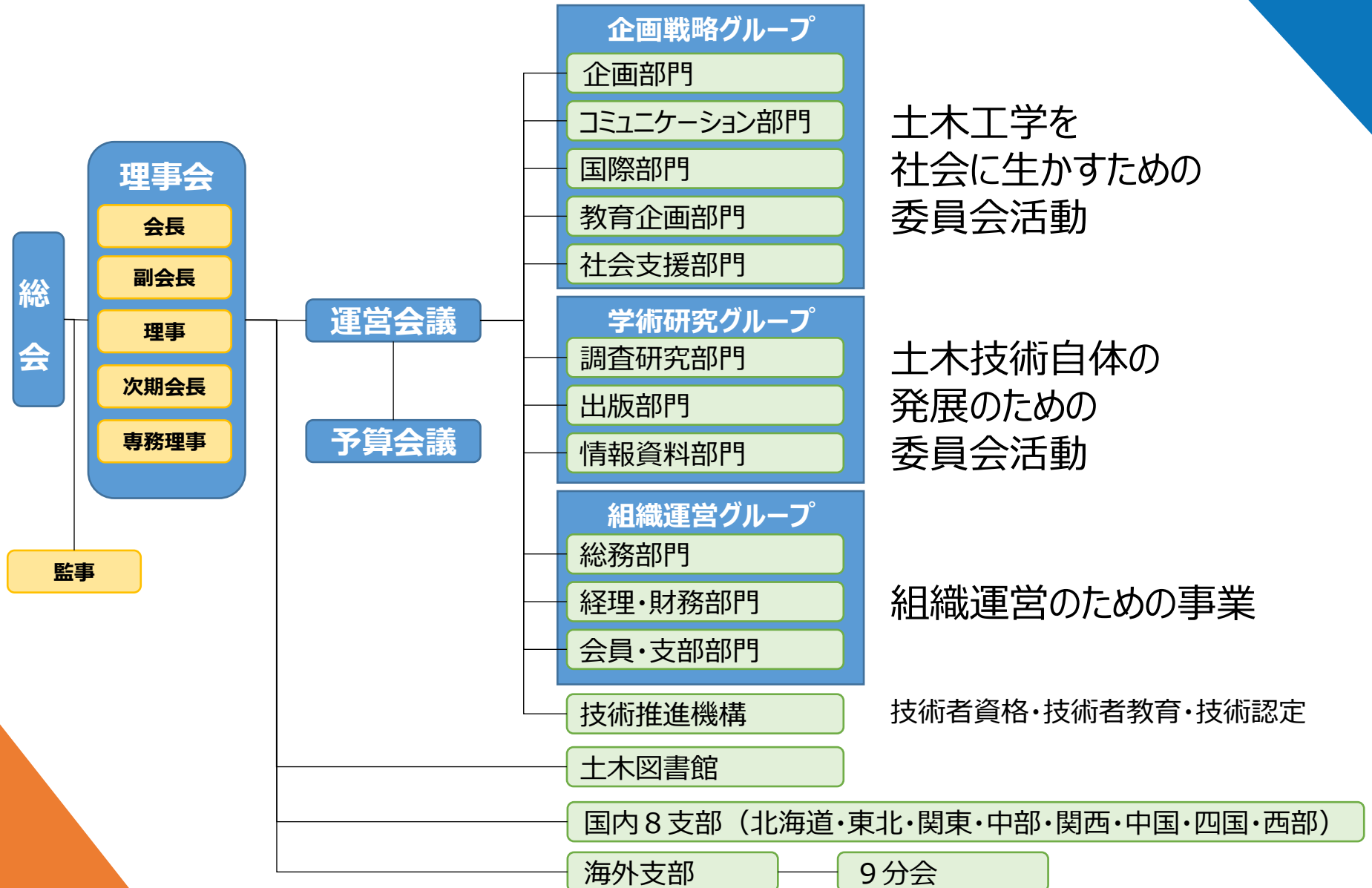
土木事業の発達並びに

土木技術者の資質の向上を図り、もって

学術文化の進展と社会の発展に寄与する

ことを目的とする。

土木学会の組織図（2025.3）



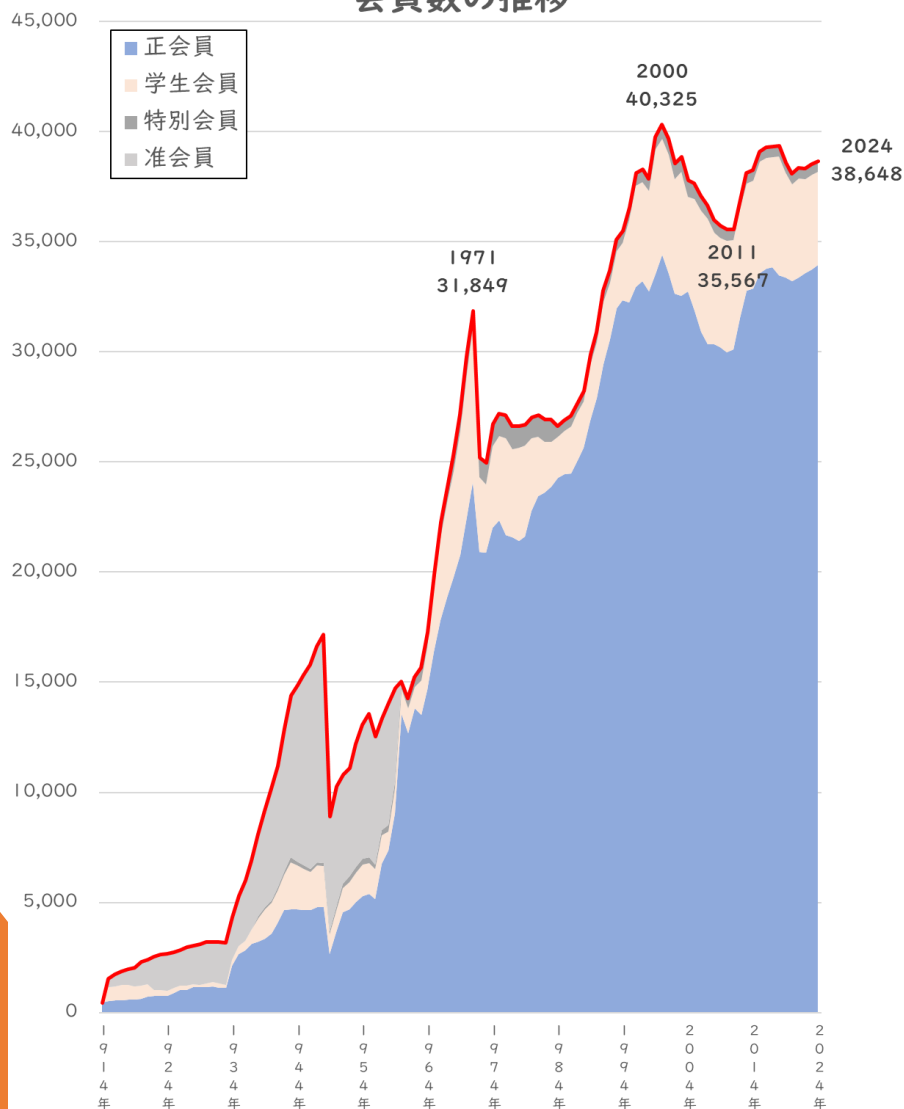
会員の状況

- ◆ 会員数の推移
- ◆ 会員構成
- ◆ 女性会員
- ◆ 年齢構成
- ◆ 業種別会員数
- ◆ 支部別会員数・属性別構成比



会員数の推移

会員数の推移

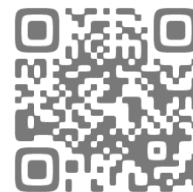


◆2024年度末時点での会員数は
3.86万人

◆ピーク時の会員数は
4.03万人（2000年度末）

◆2000年以降、減少傾向だったが
2011年度末から反転

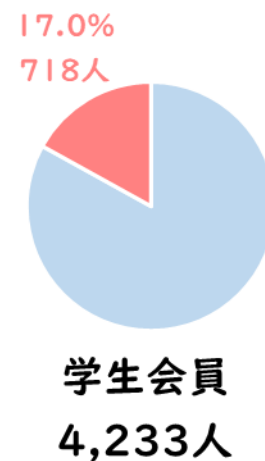
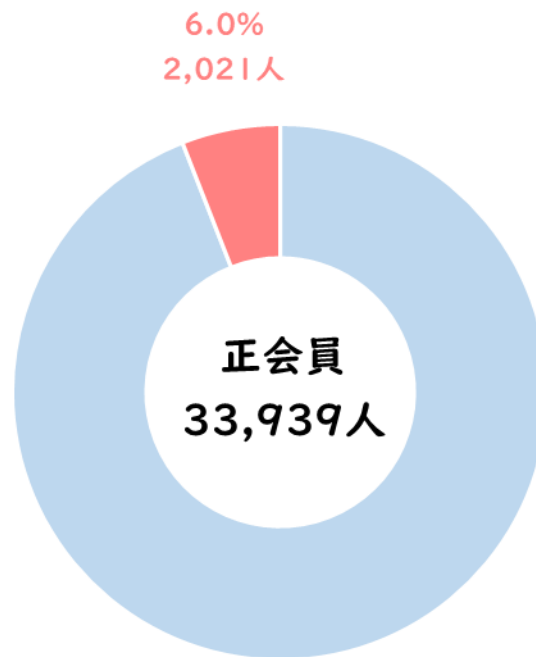
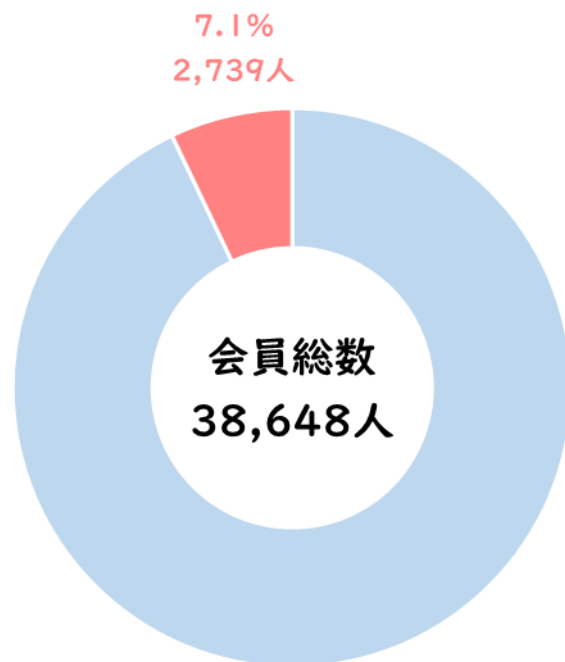
◆コロナ禍において減少したが再び
回復傾向にある



最新の会員数・会員構成

<https://committees.jsce.or.jp/member/composition>

会員構成（2024年度）



◆会員総数に対する女性会員は約7%

会員総数（正会員＋学生会員＋特別会員）

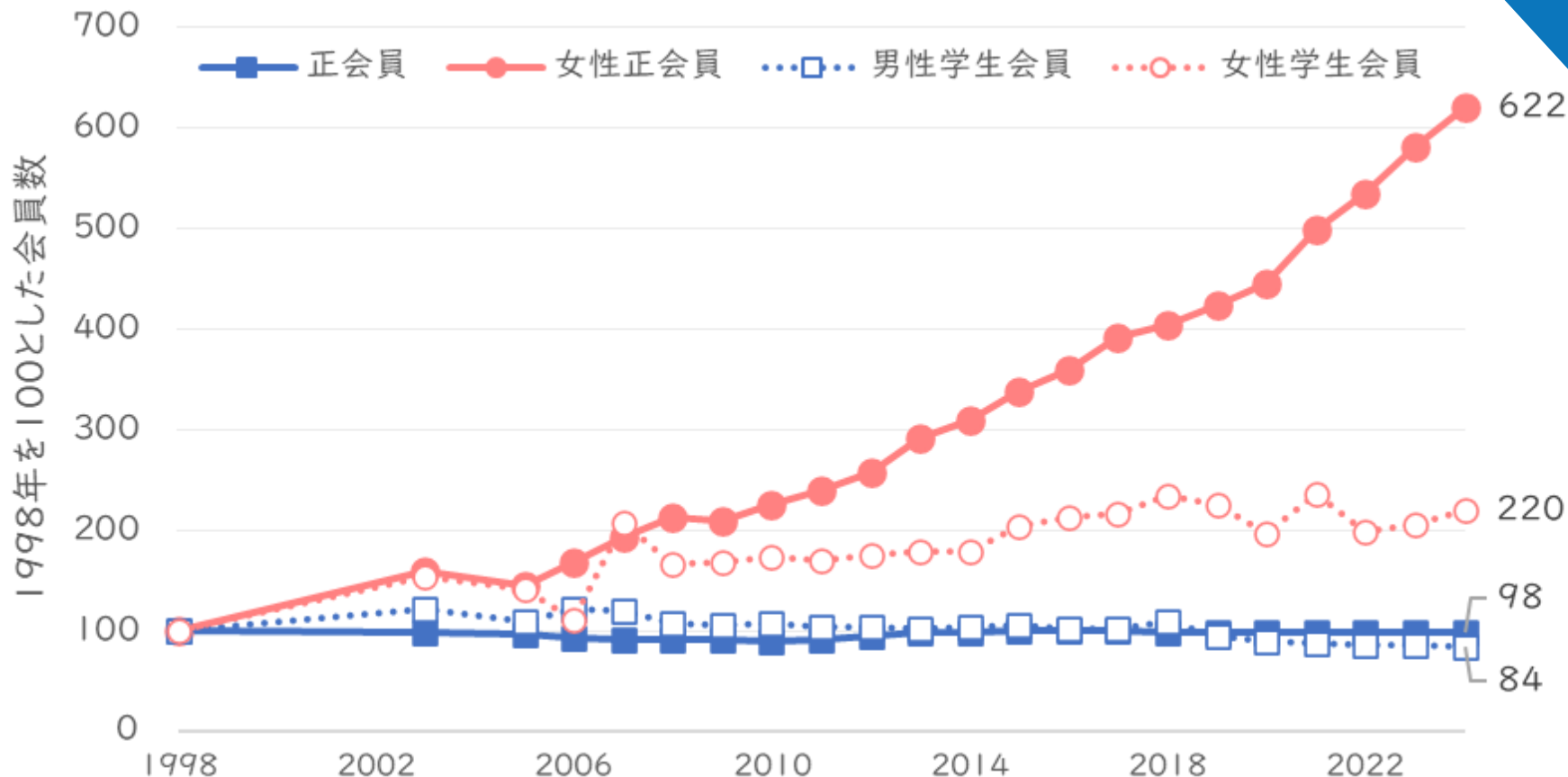
正会員（個人正会員＋法人正会員）



最新の会員数・会員構成

<https://committees.jsce.or.jp/member/composition>

女性会員（2024年度）



◆男性会員は横ばい

◆女性会員は大幅に増加

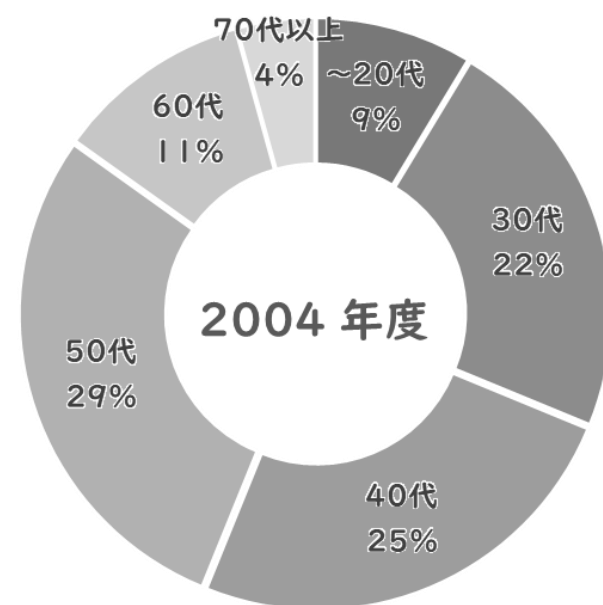
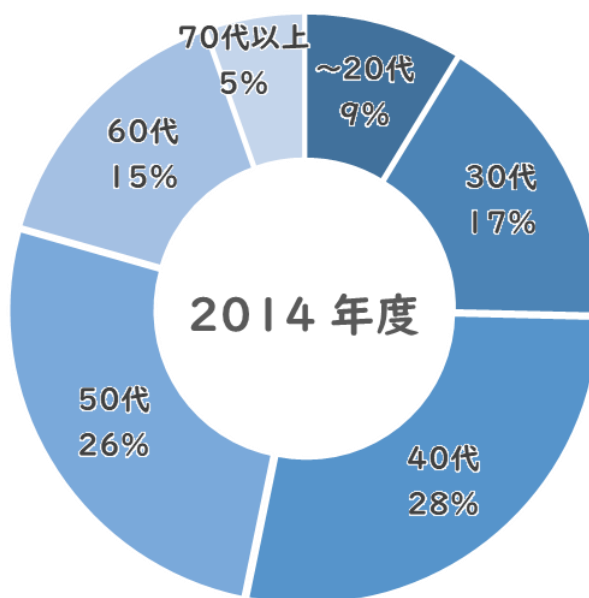
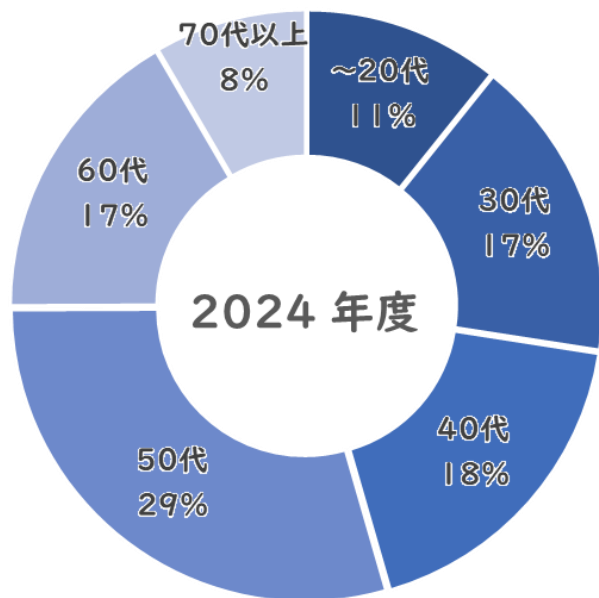
1998年を100とすると、女性正会員は**622**、女性学生会員は**220**



最新の会員数・会員構成

<https://committees.jsce.or.jp/member/composition>

会員年齢構成の変化



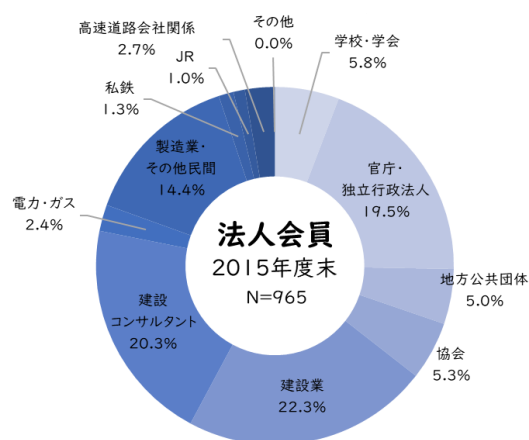
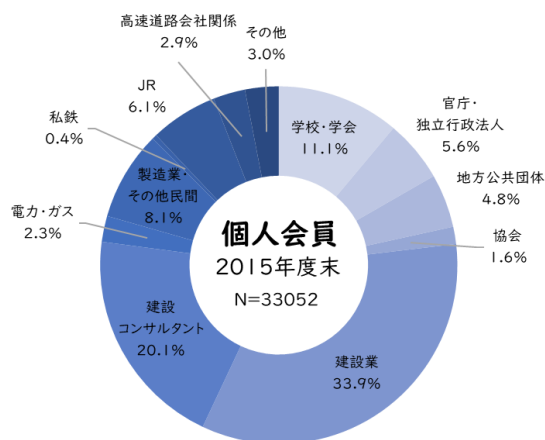
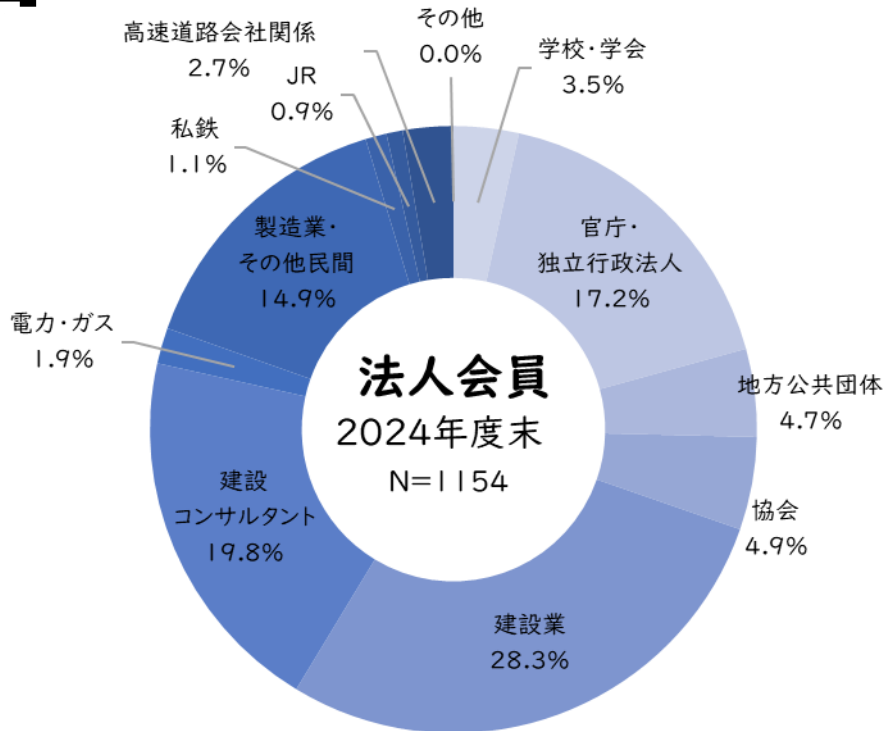
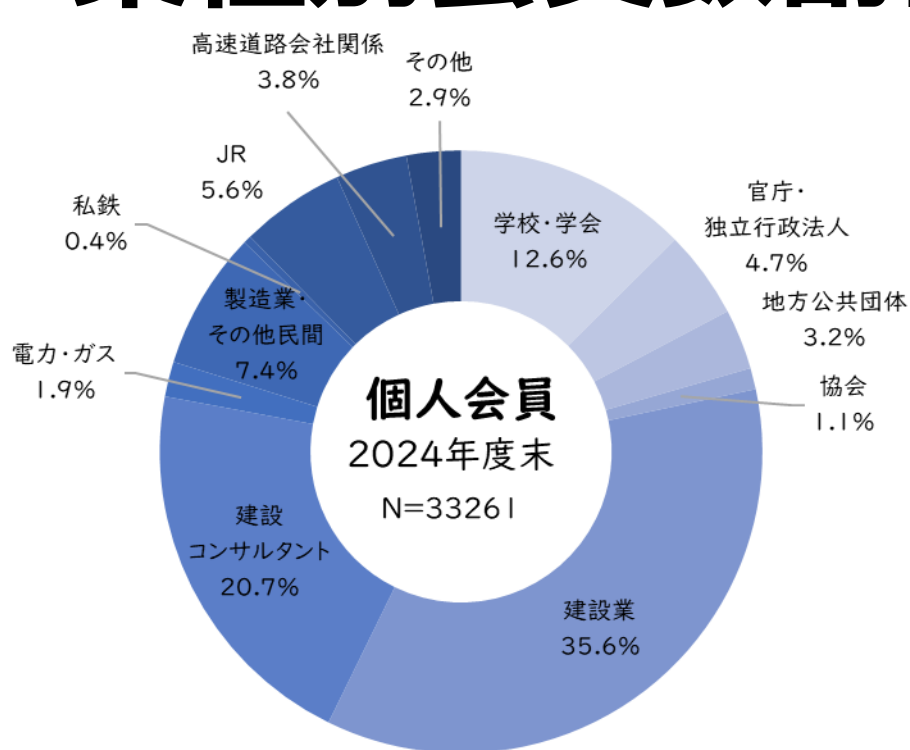
- ◆ 2024年度は正会員の過半数が**50代以上**
- ◆ 40代の構成比が大きく減少



最新の会員数・会員構成

<https://committees.jsce.or.jp/member/composition>

業種別会員数割合

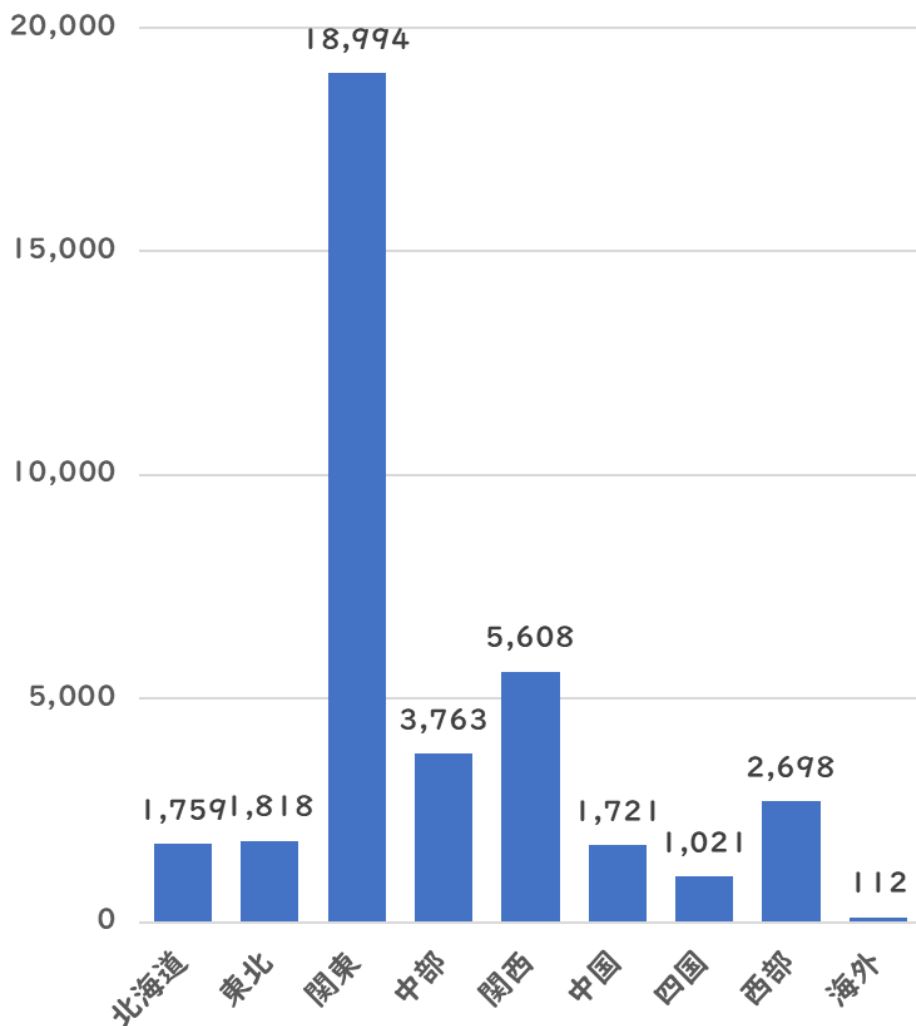


最新の会員数・会員構成

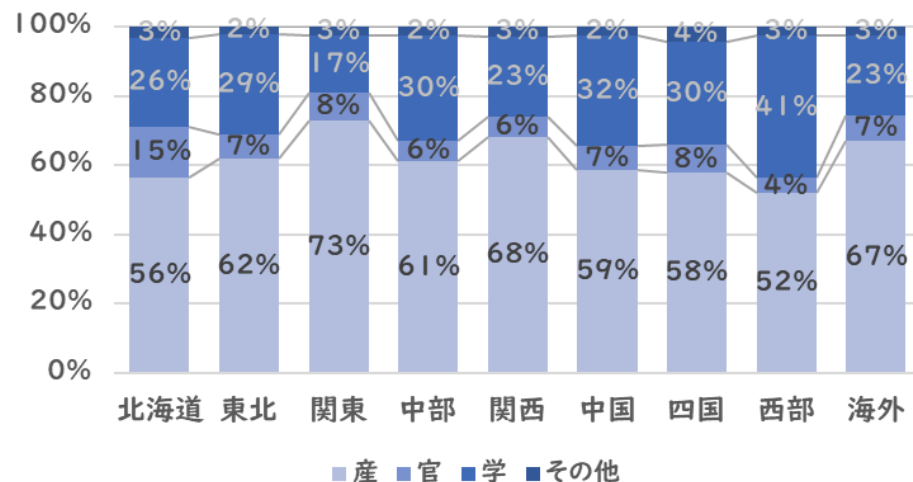
<https://committees.jsce.or.jp/member/composition>

支部別会員数・属性別構成比

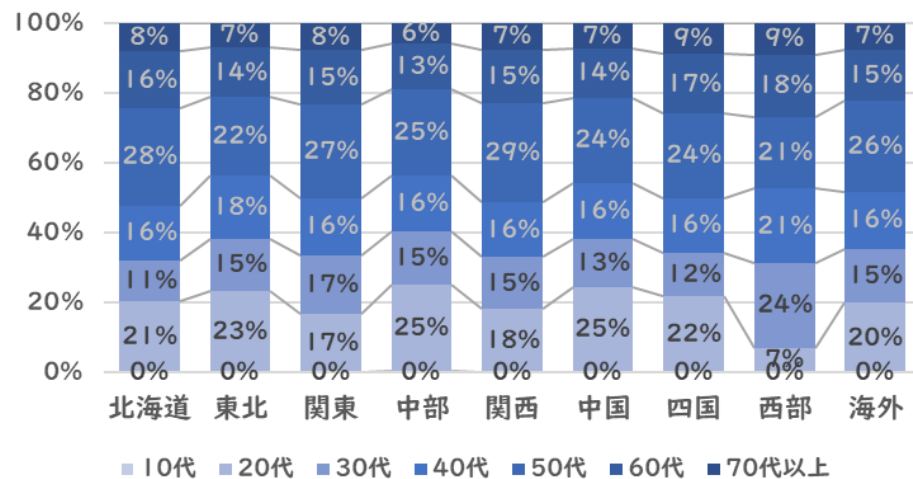
支部別会員数(2024) 単位:人



支部別の業種別会員構成比(2024)



支部別の年齢別会員構成比(2024)



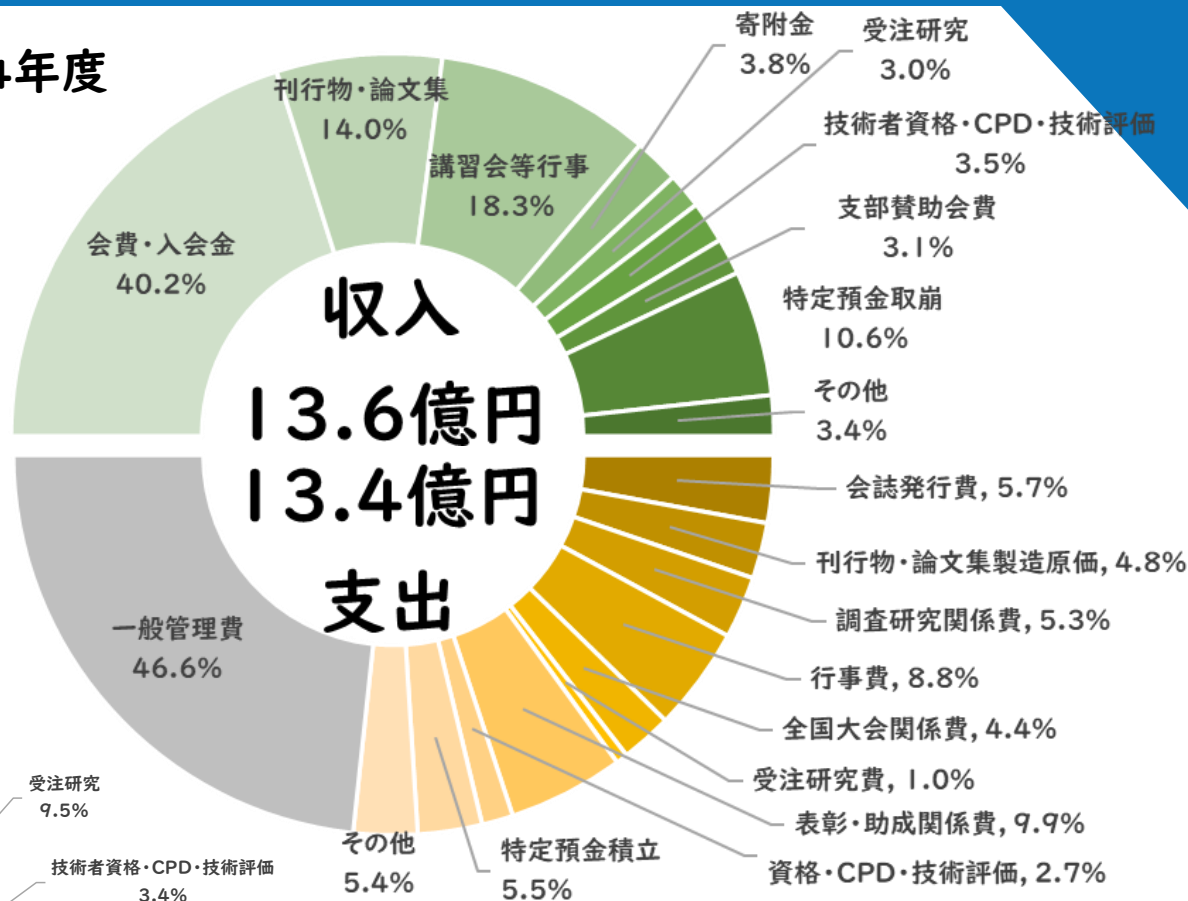
会計

- ◆収支
- ◆会費収入使途

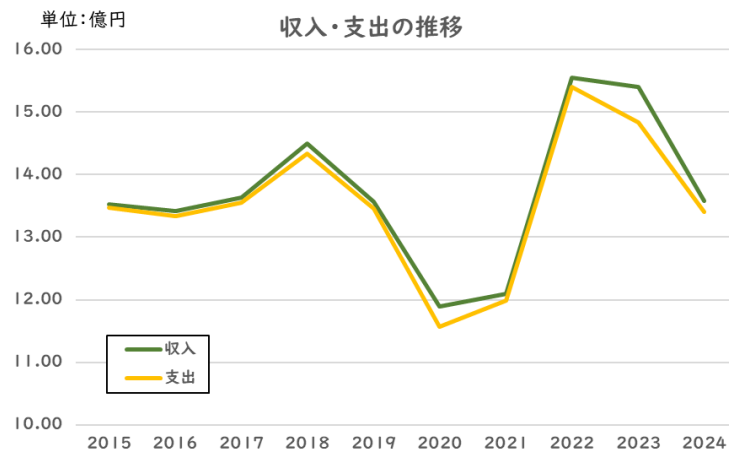
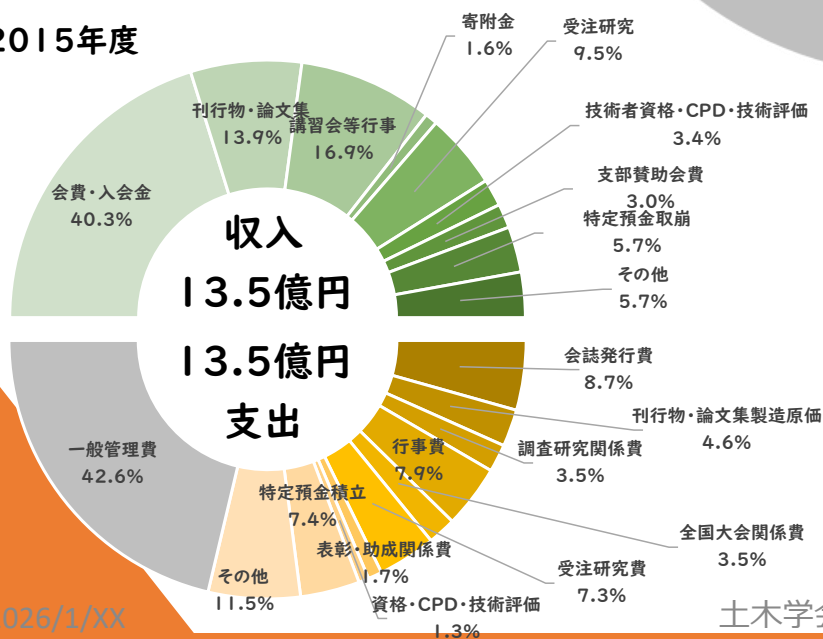


収支

2024年度

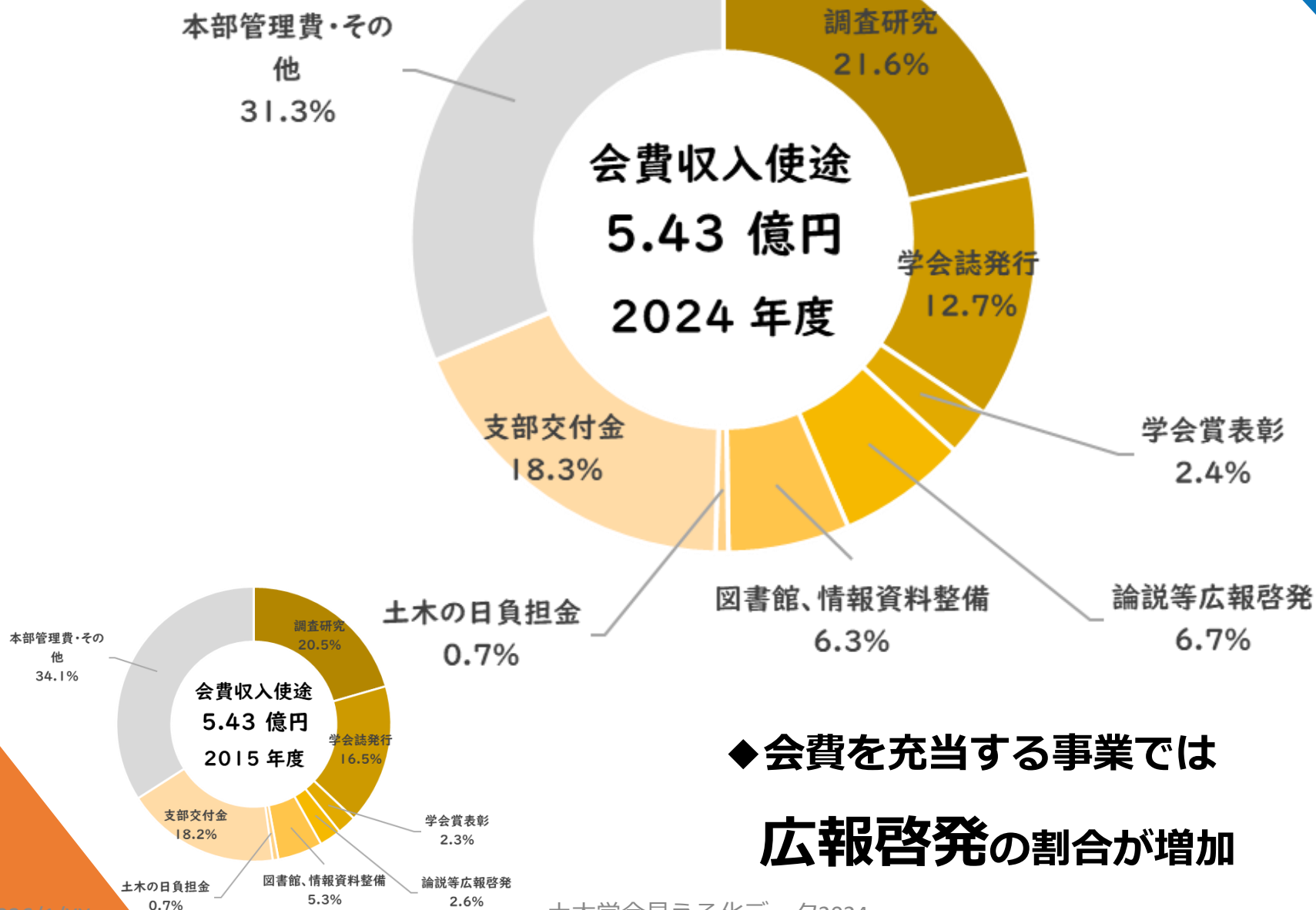


2015年度



土木学会見える化データ2024

会費収入使途



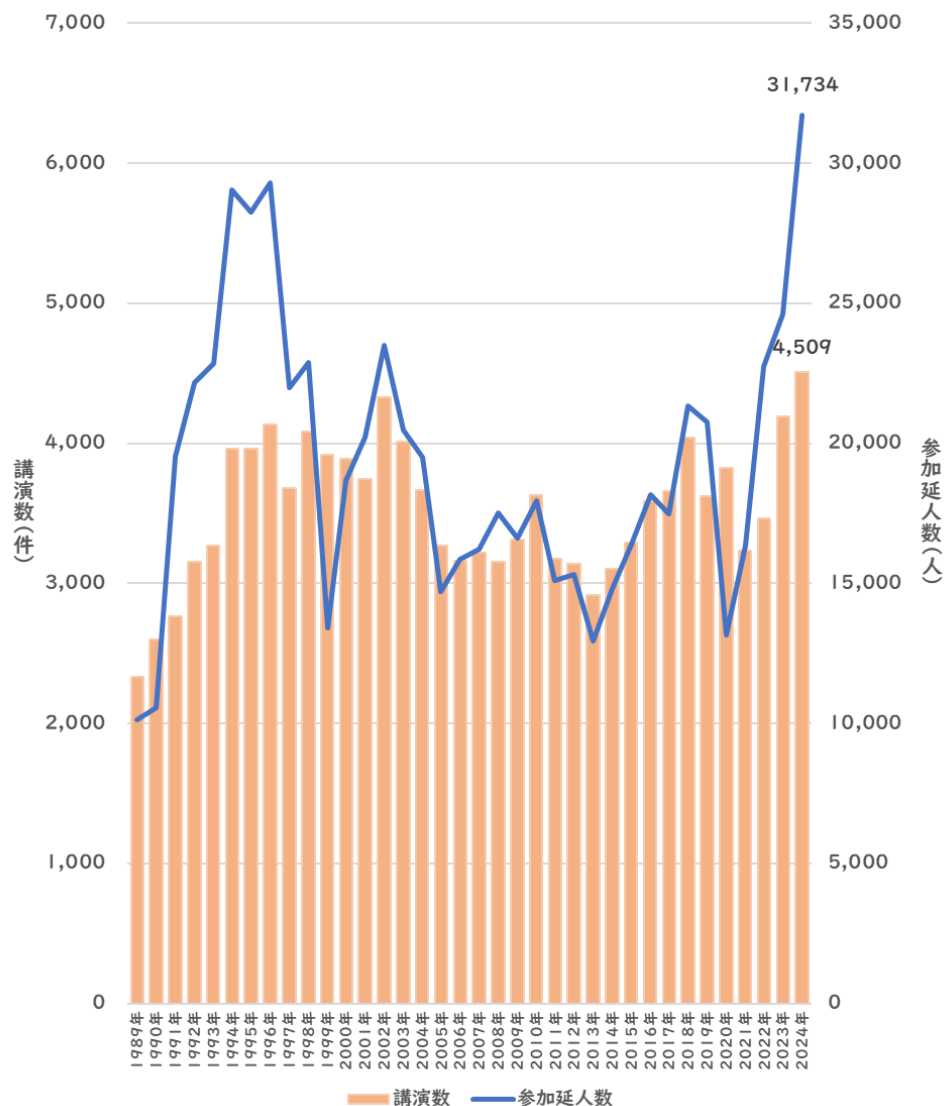
行事

- ◆全国大会
- ◆年次学術講演会
- ◆調査研究行事



全国大会

土木学会年次学術講演会 講演数と参加延人数



◆2024年度の全国大会は
参加延人数：31,734 人

講演数：4,509件

◆参加延人数は
過去最多を大きく更新

◆講演数は2年続けて4000件超

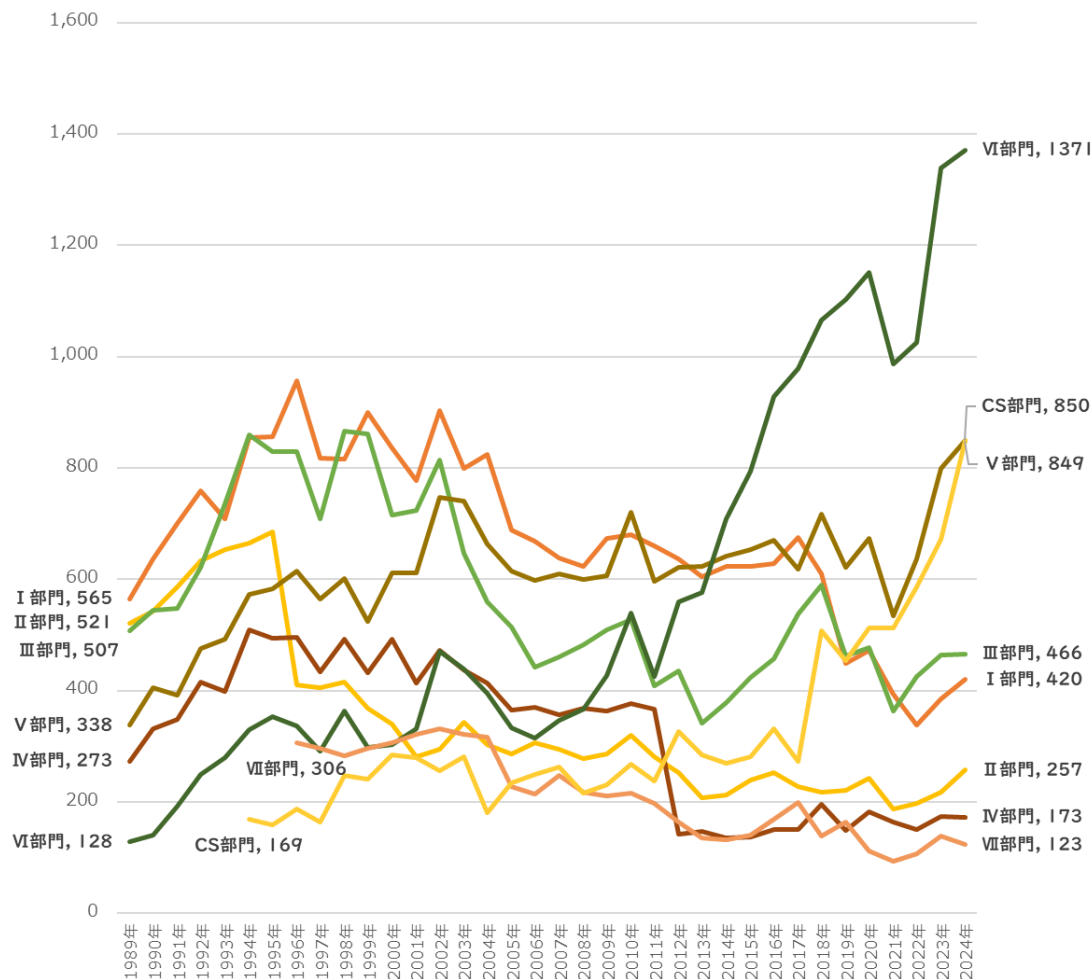
土木学会全国大会

<https://committees.jsce.or.jp/zenkoku/>



年次学術講演会

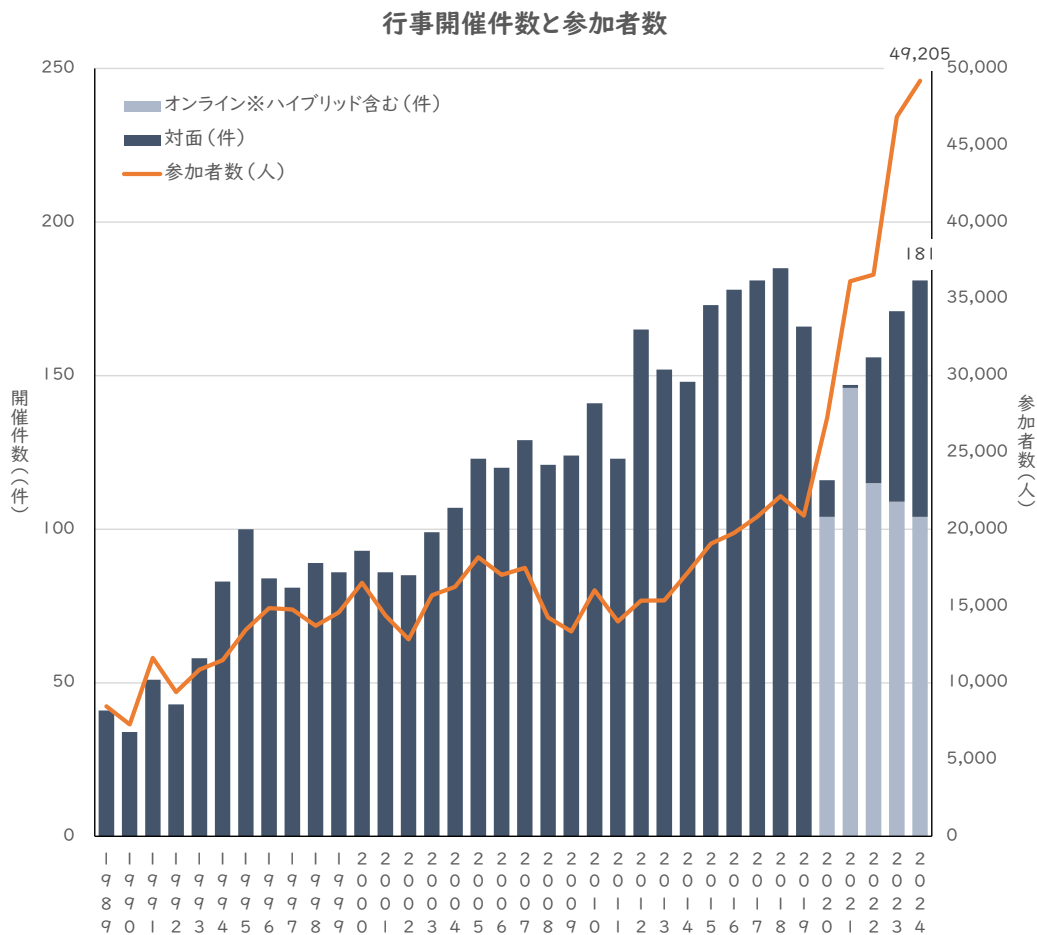
部門別講演数(件)



◆近年は第VI部門の 講演が大幅に増加

部門	内容
I 部門	応用力学、構造工学、鋼構造、風工学 等
II 部門	水理学、水文学、河川工学、水資源工学、 港湾工学、海岸工学、海洋工学、環境水理 等
III 部門	土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、 地盤環境工学等
IV 部門	土木計画、国土・地域・都市計画、交通計画、 交通現象分析、交通運用管理、景観・デザイン、 土木史、測量 等
V 部門	土木材料、舗装工学、コンクリート工学、 コンクリート構造、木材工学 等
VI 部門	建設事業計画、設計技術、積算・契約・労務・ 調達、施工技術、環境影響対応技術、 維持・補修・保全技術、建設マネジメント 等
VII 部門	環境計画・管理、環境システム、 用排水システム、廃棄物、環境保全 等
CS 部門	共通セッション (土木教育、D&I、公募テーマ)

調査研究行事（本部）

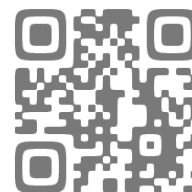


◆行事開催件数はコロナ禍前の水準に回復

◆コロナ禍以降はオンライン行事（ハイブリッド含む）の割合が高まり、対面行事は全体の約4割

◆一方でオンライン導入以降の参加者数は大幅増

本部主催の行事申込
<https://www.jsce.or.jp/events>



刊行物

- ◆ 論文集（通常号）
- ◆ 論文集（特集号）
- ◆ 刊行物
- ◆ 売上部数ランキング



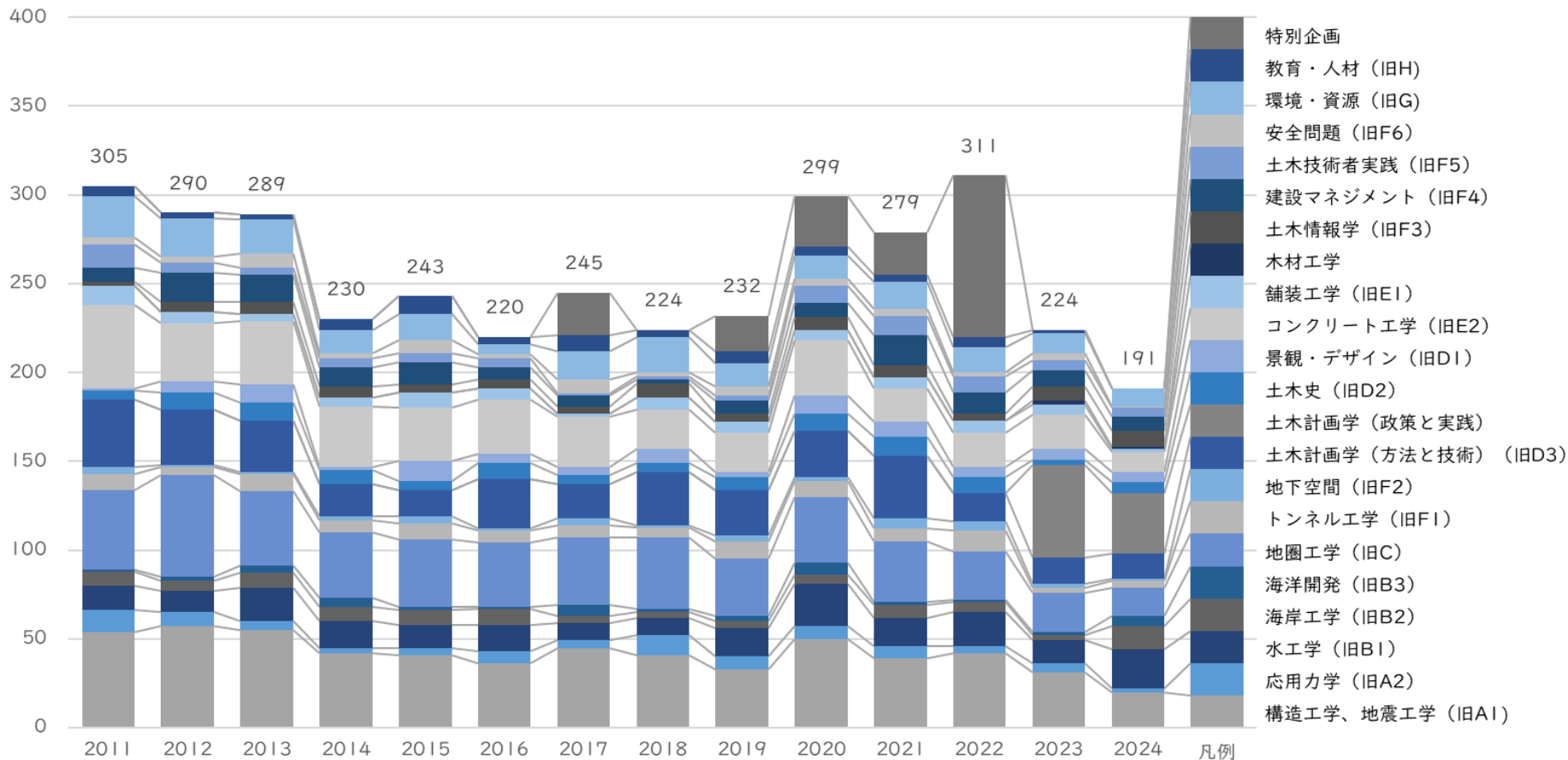
土木学会論文集

- ◆土木学会論文集は、
和文論文集・英文論文集で構成
- ◆和文論文集は、分野ごとの分冊で
発行されていたものを1誌に統合
 - 通常号 (Vol.1~12)
 - ・ 毎月定期刊行
 - ・ 8つの掲載カテゴリー、21の投稿カテゴリー
 - 特集号 (Vol.13~)
 - ・ 各調査研究委員会がそれぞれの専門分野について講演会を伴い刊行
- ◆オンラインジャーナルとして
J-STAGE上で公開
- ◆公開後1年を経過した論文は
オープンアクセス

土木学会論文集 (Japanese Journal of JSCE)	
掲載カテゴリー	投稿カテゴリー
構造工学、地震工学、 応用力学	構造工学、地震工学
	応用力学
河川・海岸・海洋工学 と水文学	水工学
	海岸工学
	海洋開発
地圏工学	地圏工学
	トンネル工学
	地下空間研究
土木計画学	景観・デザイン
	土木史
	土木計画学(方法と技術)
	土木計画学(政策と実践)
建設材料と構造	コンクリート工学
	舗装工学
	木材工学
土木技術と マネジメント	土木情報学
	建設マネジメント
	土木技術者実践
	安全問題
環境と資源	環境・資源
土木工学における 人材育成と教育	教育・人材

論文集（通常号）

論文集（通常号）掲載本数



◆通常号は、定期学術雑誌として毎月刊行される論文集でオンラインジャーナルとして、J-STAGE上で公開されています

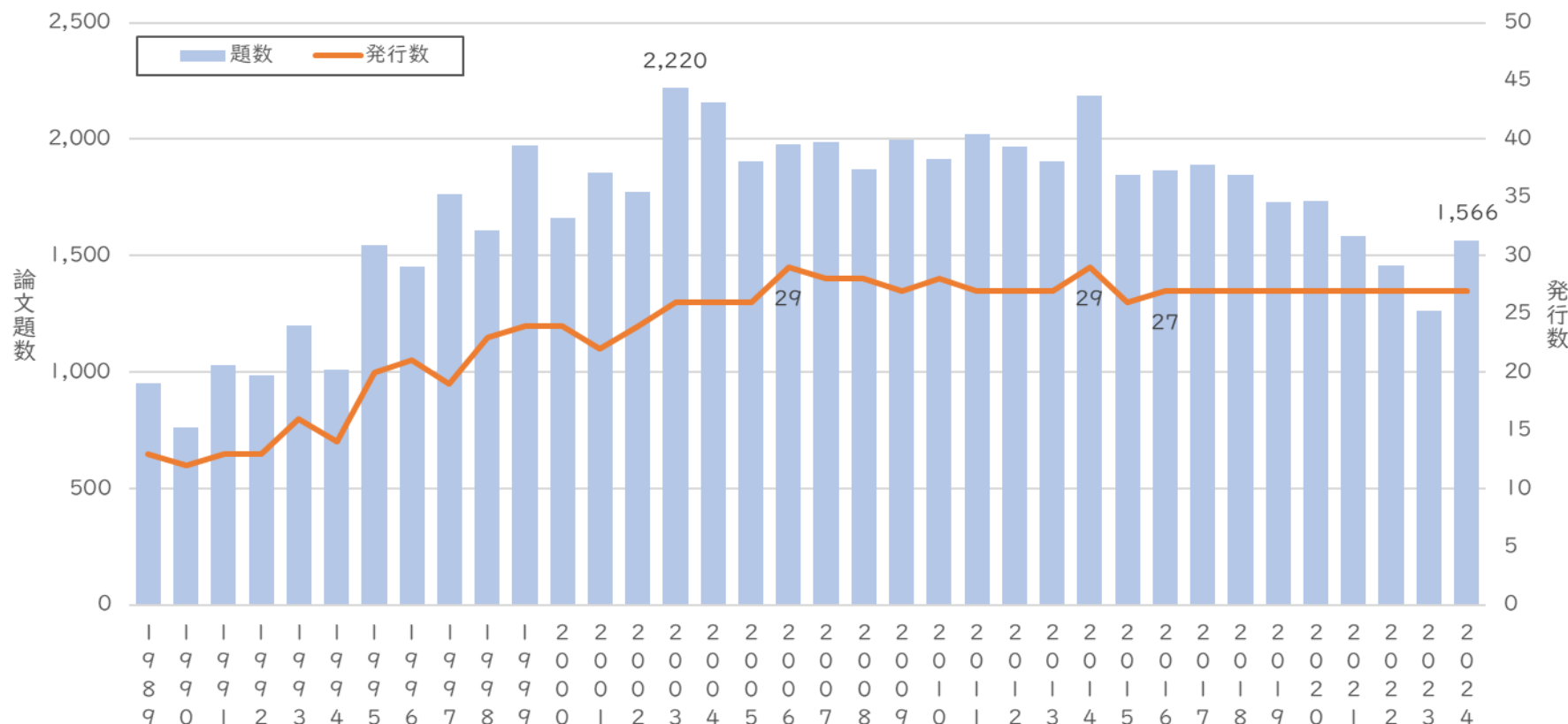
◆掲載数は減少傾向で、2024年度は19分冊化以降で最少

土木学会論文集HP



論文集（特集号）

論文集（特集号）掲載本数



◆特集号は、各専門分野での講演会を伴って刊行される論文集でオンラインジャーナルとして、J-STAGE上で公開されています

◆2024年度の掲載本数はやや回復



土木学会論文集HP

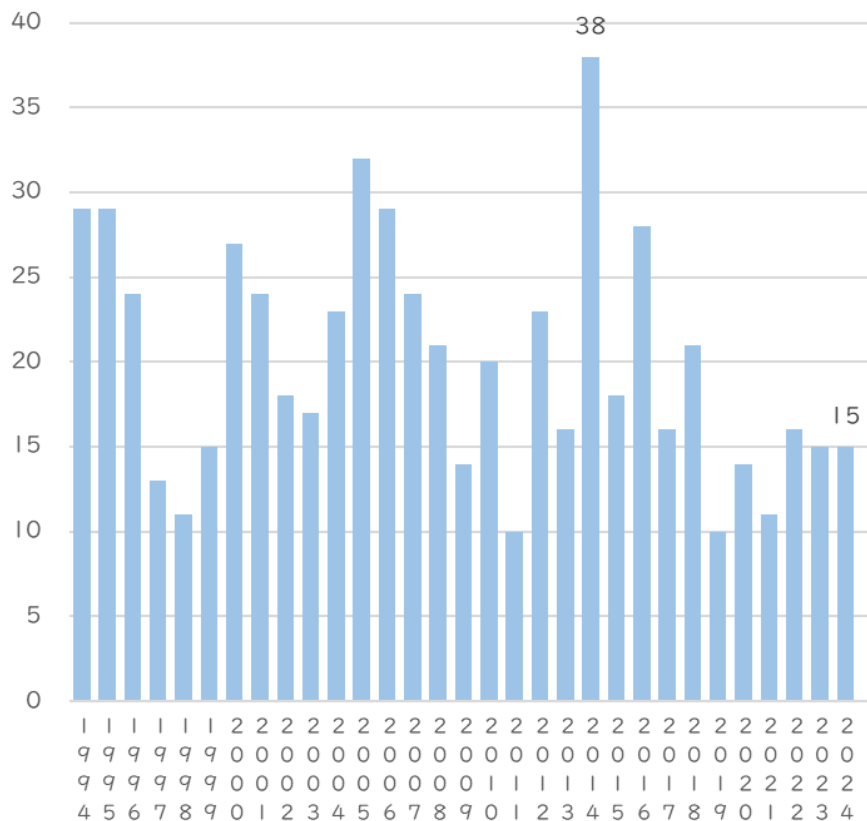
土木学会見える化データ2024

<https://www.jsce.or.jp/collection/>

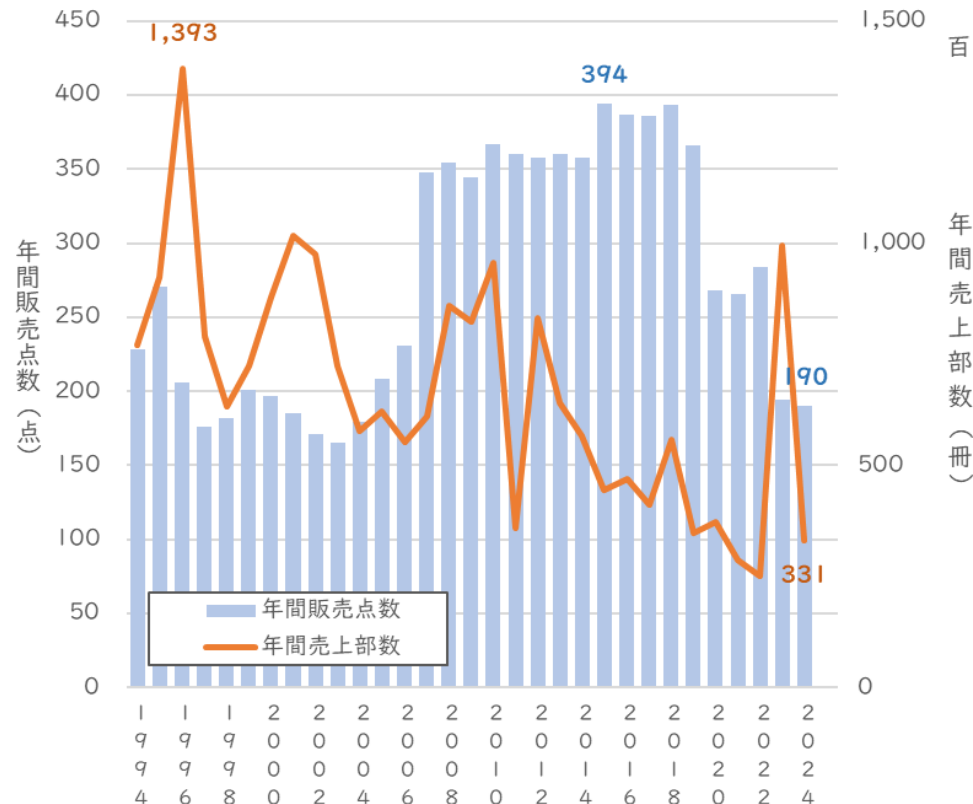
刊行物



新刊発行点数



刊行物取扱実績

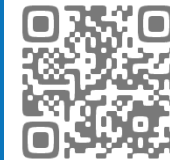


◆2024年度の新刊は**15点**

◆2023年度はコンクリート標準示方書の刊行で年間売上部数は大幅増

売上部数ランキング

刊行物・試験器販売
<https://www.jsce.or.jp/publication/>



2024年度 売上部数ベスト10(すべての出版物)

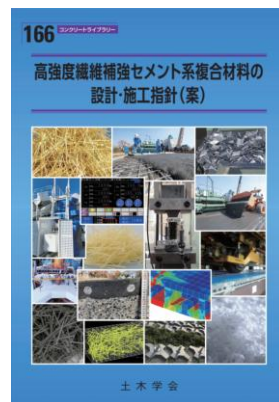
(対象期間: 2024年4月1日～2025年3月31日)

	書名	担当委員会名	売上部数	発行年月	定価(円) (本体価格)
1	2023年制定コンクリート標準示方書施工編	コンクリート委員会	4,222	2023年09月	6,000
2	土木材料実験指導書[2025年改訂版]	コンクリート委員会	2,706	2025年03月	8,400
3	2022年制定コンクリート標準示方書 設計編	コンクリート委員会	1,937	2023年03月	6,400
4	鋼構造架設設計施工指針【2024年版】	鋼構造委員会	1,473	2024年01月	3,200
5	2022年制定コンクリート標準示方書 維持管理編	コンクリート委員会	1,143	2023年03月	1,600
6	2023年制定コンクリート標準示方書規準編	コンクリート委員会	979	2023年09月	18,000
7	土質試験の手引き[第四版]	地盤工学委員会	949	2024年03月	3,000
8	2022年制定コンクリート標準示方書 基本原則編	コンクリート委員会	819	2023年03月	4,000
9	水理実験解説書 2015年度版	水工学委員会	608	2015年02月	3,000
10	水理公式集例題集(2024年版)	水工学委員会	606	2024年12月	1,300

2024年度 売上部数ベスト10(示方書、教材図書を除く出版物)

(対象期間: 2024年4月1日～2025年3月31日)

	書名	担当委員会名	売上部数	発行年月	定価(円) (本体価格)
1	CL160 コンクリートのあと施工アンカー工法の設計・施工指針(案)	コンクリート委員会	514	2022年01月	4,500
2	TL34 都市における近接トンネル—設計・施工法に関する検討—	トンネル工学委員会	502	2024年01月	7,000
3	CL166 高強度繊維補強セメント系複合材料の設計・施工指針(案)	コンクリート委員会	461	2024年09月	3,000
4	鋼構造S39 鋼橋の改築・更新と災害復旧—事例と解説—	鋼構造委員会	409	2024年10月	3,900
5	CL156 鉄筋定着・継手指針[2020年版]	コンクリート委員会	407	2020年03月	3,200
6	鋼構造S40 鋼床版の維持管理技術～補修補強・疲労強度評価・床版取替への適用～	鋼構造委員会	383	2024年11月	3,300
7	CL167 暑中コンクリートの計画・設計・施工指針(案)	コンクリート委員会	374	2025年02月	5,400
8	土木の群像	土木学会誌編集委員会	350	2025年02月	2,900
9	続・実務に役立つ耐震設計入門(実践編)～2024年改訂版～	地震工学委員会	345	2024年11月	4,500
10	仮設構造物の計画と施工[2010年改訂版]	建設技術研究委員会	315	2010年10月	6,000



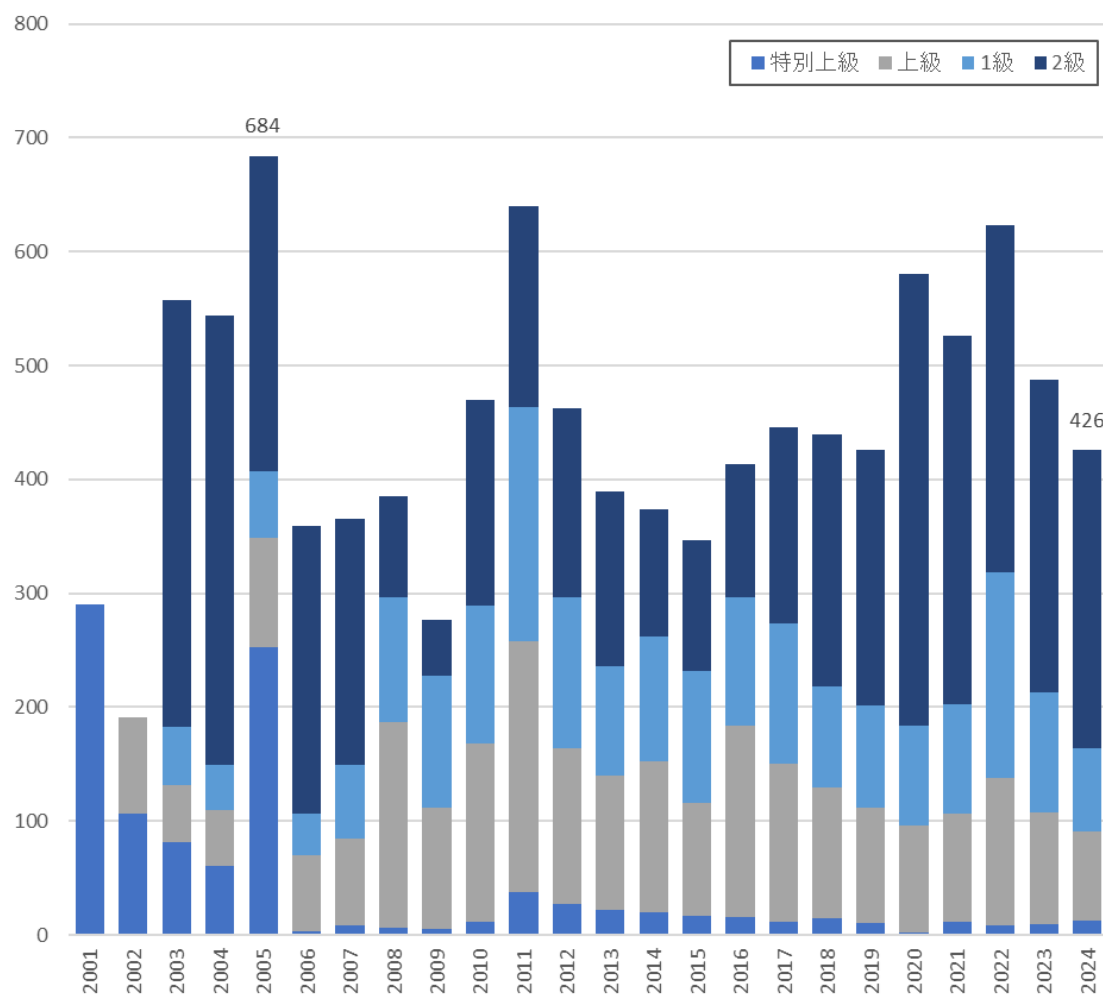
技術者教育

- ◆土木学会認定土木技術者
申込者・合格者・認定者
- ◆CPD認定プログラム
分野
開催地



土木学会認定土木技術者

土木学会認定土木技術者 認定者数



特別上級土木技術者

専門分野における高度な知識および豊富な経験に基づく広範な見識により、日本を代表する技術者として土木界さらには社会に対して、多面的に貢献できる能力。

上級土木技術者

複数の専門分野における高度な知識、あるいは少なくとも1つの専門分野における豊富な経験に基づく見識を有し、重要な課題解決に対してリーダーとして任務を遂行する能力。

1 級土木技術者

少なくとも1つの専門分野における高度な知識を有し、自己の判断で任務を遂行する能力。

2 級土木技術者

土木技術者として必要な基礎知識を有し、与えられた任務を遂行する能力。

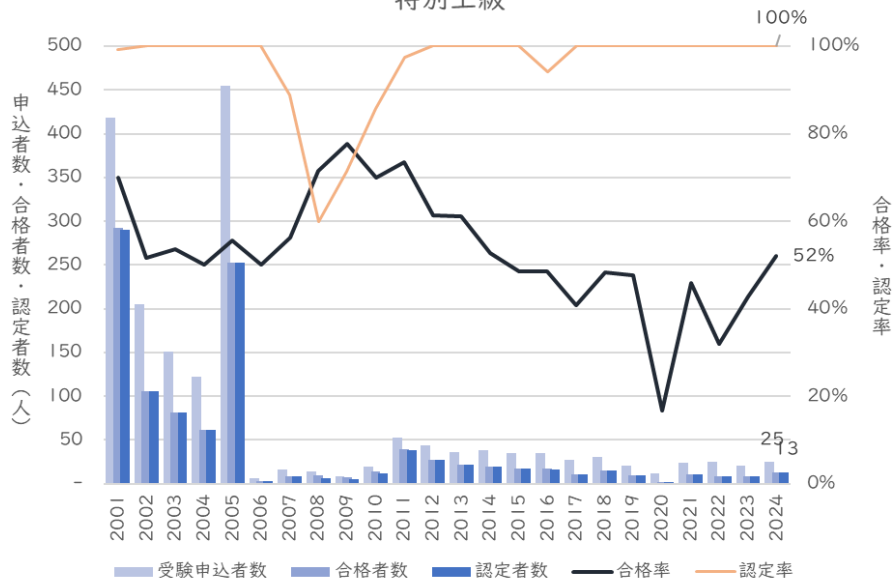
土木学会認定土木技術者制度

<https://committees.jsce.or.jp/opcet/shikaku>

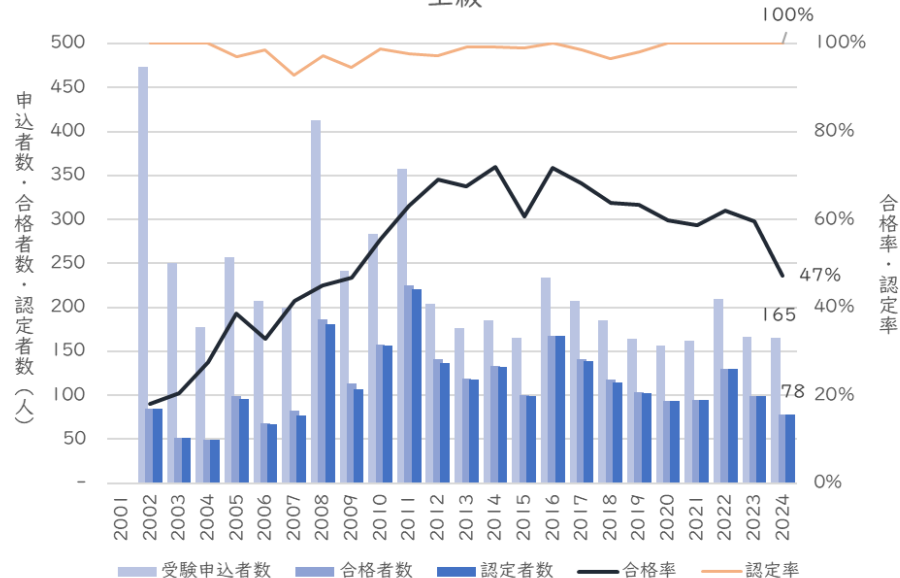


申込者・合格者・認定者

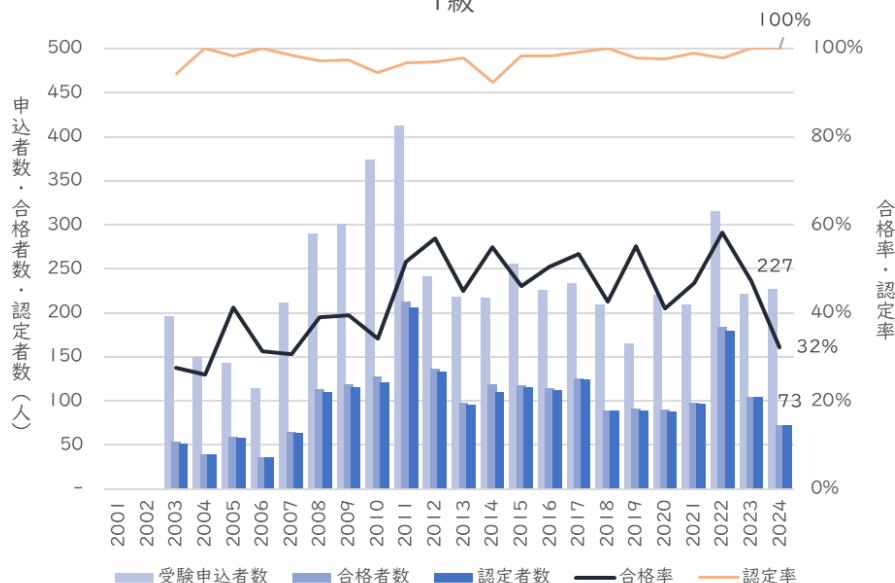
特別上級



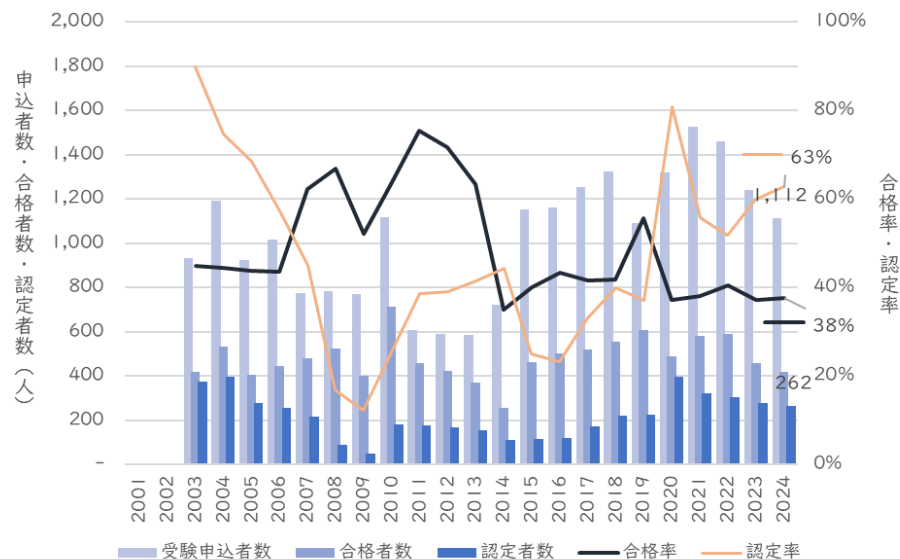
上級



1級

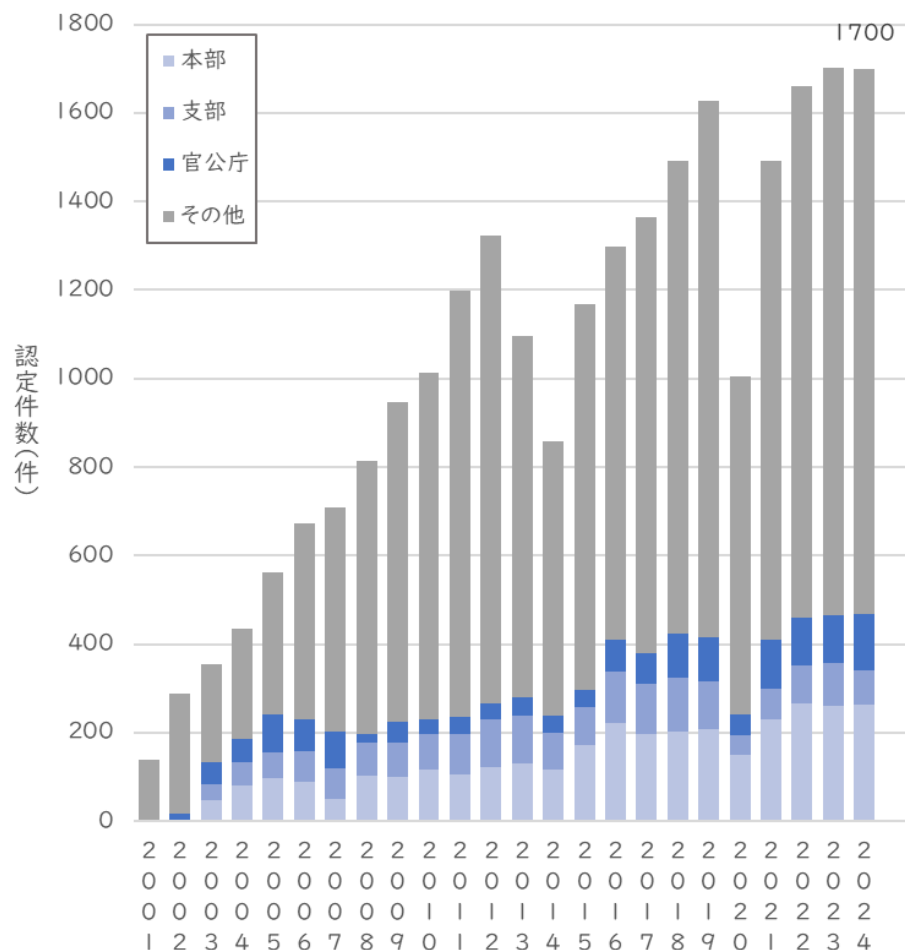


2級

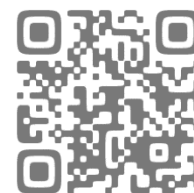


CPD認定プログラム（件数）

プログラム認定数（主催者別）



◆CPDプログラム認定件数は、
年間約1700件で推移



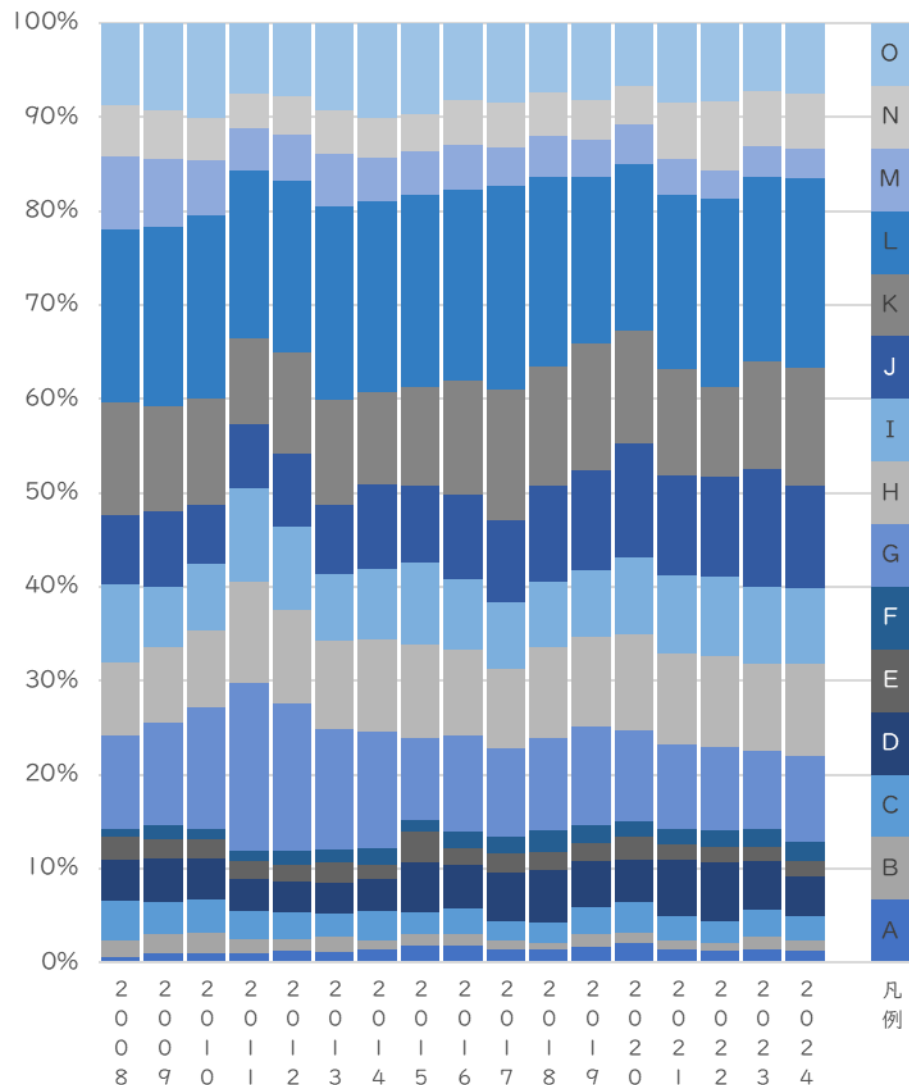
土木学会CPD制度

<https://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd>

土木学会見える化データ2024

CPD認定プログラム（分野）

認定分野



◆CPD認定プログラムの内容は
L:マネジメント関連が多い

※1つのプログラムで
複数分野の内容がある

教育分野

■ I 基礎共通分野

- A: 倫理 倫理規定, 技術倫理, 職業倫理, など
- B: 一般科学 数学, 物理, 化学, 生物学, 統計学, 数値解析, など
- C: 環境 地球環境問題, 生態学, など
- D: 社会経済動向 国内外の社会動向, 産業経済動向, など
- E: 法令等関連制度 関連法令・省令・条例, 知的財産権法, 契約制度, など
- F: その他 歴史, 経済, 文学, 技術史, 語学, プレゼンテーション力, コミュニケーション力, ITリテラシー, など

■ II 専門技術分野*

- G: I 応用力学, 構造工学, 鋼構造, 耐震工学, 地震工学, 風工学, など
- H: II 水理学, 水文学, 河川工学, 水資源工学, 港湾工学, 海洋工学, 環境水理, など
- I: III 土質力学, 基礎工学, 岩盤工学, 土地地質, 地盤環境工学, など (主な論点が地盤工学に関するものであること)
- J: IV 土木計画, 地域都市計画, 国土計画, 交通計画, 交通工学, 鉄道工学, 景観・デザイン, 土木史, 測量, など
- K: V 土木材料, 舗装工学, コンクリート工学, コンクリート構造, など
- L: VI 建設事業計画, 設計技術, 積算・契約・労務・調達, 施工技術, 環境影響対応技術, 維持・補修・保全技術, 建設マネジメント, など (主な論点が建設事業に関するものであること)

■ VII 環境計画・管理, 環境システム, 用排水システム, 廃棄物, 環境保全, など

■ III 周辺技術分野

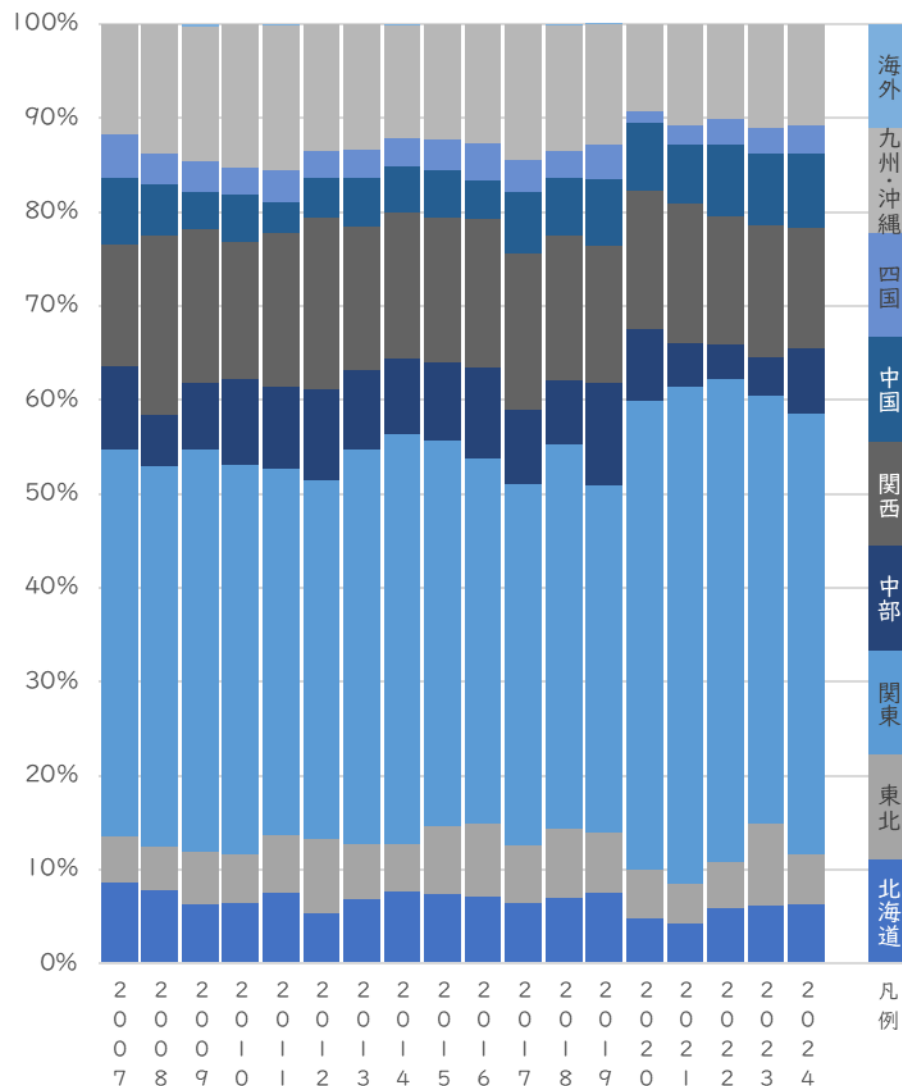
- N: 環境アセスメント, 環境調査, 情報工学, コミュニケーション・プレゼンテーション技術, 情報化技術, プログラミング, など

■ IV 総合管理分野

- O: 建設生産システム (CM, PM), 品質保証, 安全管理, リスクマネジメント, 公共経済学, 社会資本整備論, など

CPD認定プログラム（開催地）

開催地域



◆ 関東地区での開催が半数以上を占め、依然として地方での受講機会の提供に課題がある

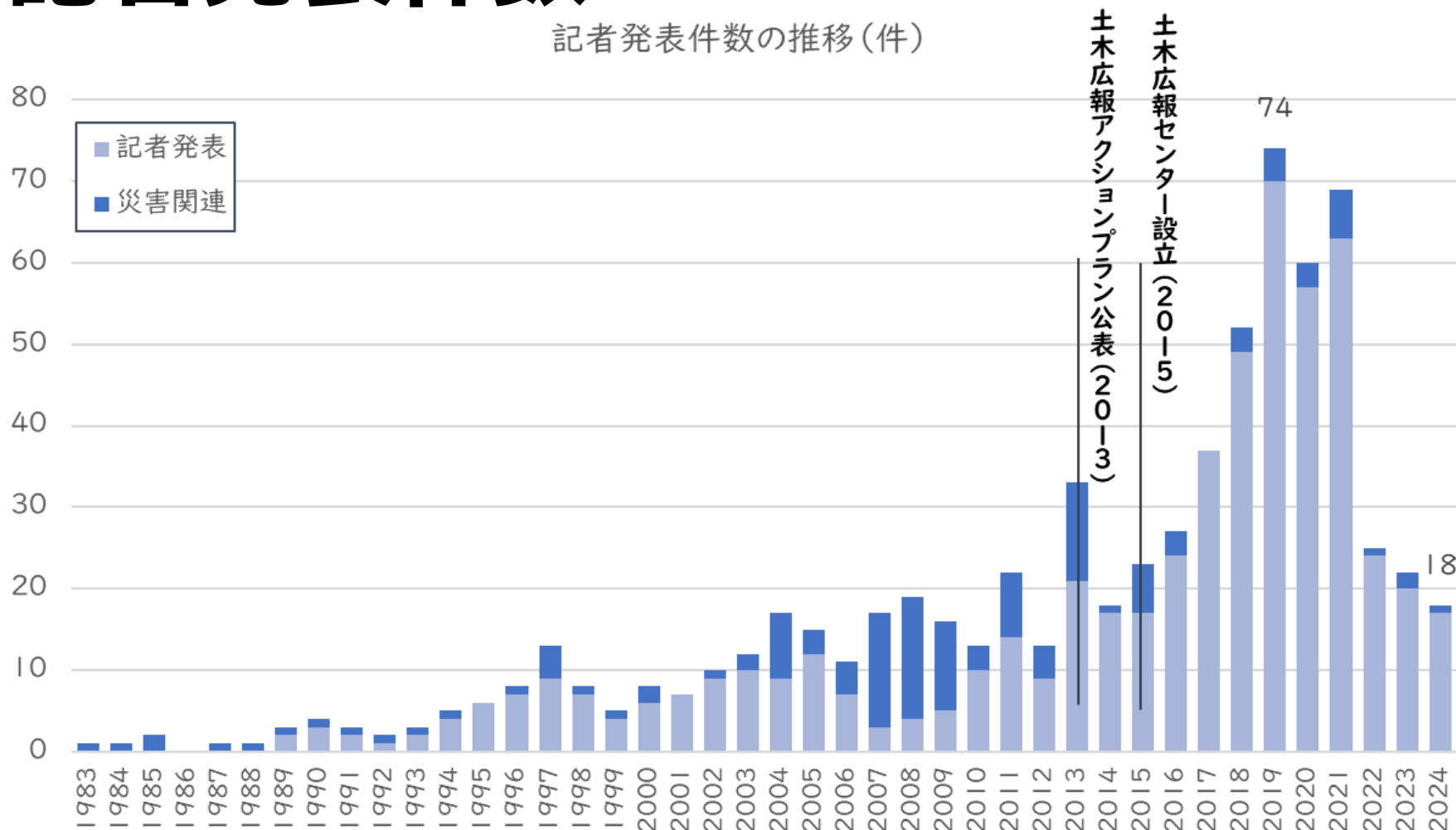
広報発信

- ◆記者発表件数
- ◆メディア掲載件数



記者発表件数

記者発表件数の推移(件)



◆2024年度の発表件数は18件と、10年前の水準に戻っている

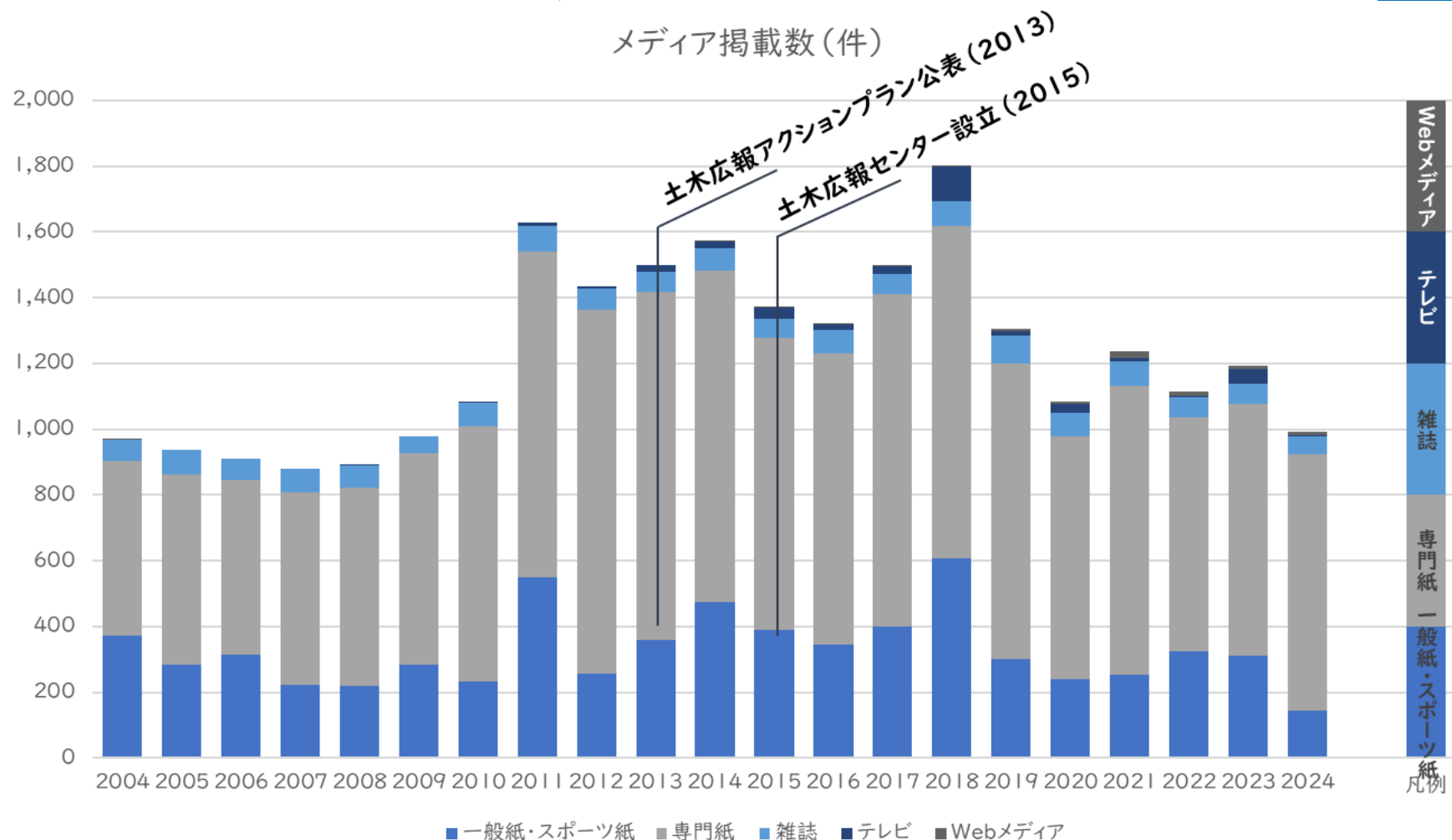
土木広報センター News Release

<https://committees.jsce.or.jp/cprcenter/taxonomy/term/9>

土木学会見える化データ2024



メディア掲載件数



- ◆ 土木学会の各種メディアへの掲載は、東日本大震災後に掲載数が急増し、しばらく増加傾向にあったが、ここ数年は漸減傾向にある

土木学会SNS



土木学会
47,151 フォロワー



<https://www.facebook.com/JSCE.jp/>





土木学会tv / JSCEtv

@JSCEtv・チャンネル登録者数 3880人・683本の動画

土木学会は、1914年11月24日に社団法人として設立され、「土木工学の進歩および...」さらに表示

<https://www.youtube.com/JSCEtv>





doboku jsce
@doboku_jsce

国内有数の工学系団体である土木学会は、「土木工学の進歩および土木事業の発展ならびに土木技術者の資質向上を図り、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与することを目指す」ことを目的とし、さまざまな活動を実施しています。

YouTube: www.youtube.com/JSCEtv
Instagram: www.instagram.com/doboku_jsce/
Twitter: [doboku_jsce](https://twitter.com/doboku_jsce)
Facebook: www.facebook.com/JSCE.jp/





え、工事現場の人...? だけじゃない!?
生活の中で「あたりまえ」にあるものは
実は、土木が支えているんです!



公益社団法人土木学会【公式note】

土木学会は「土木工学の進歩および土木事業の発展ならびに土木技術者の資質向上を図り、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与することを目指す」ことを目指し活動をしていす
学会公式として特定の嗜好に偏らず、学会の活動・事業を中心に土木を発信します <https://www.jsce.or.jp/>

223 フォロー 1,772 フォロワー





土木学会note支部
@JSCE_note

土木学会公式noteと連動した、土木学会事務局が偏らず、公式noteの情報のほか学会公式HPの新着発信します。暮ねてネタ拾いも。ポスト・いいねの学会の見解とは異なります。フォローは基本、狙います

Civil engineer 東京都新宿区西四一丁目
2020年12月からXを利用しています

607 フォロー中 3,778 フォロワー



https://x.com/JSCE_note



JSCE 学生小委員会
@doboku_gakusei

土木学会学生小委員会の公式twitterです！主に活木系の学生の皆さん、そして先輩方、ぜひフォロー

2022年4月からTwitterを利用しています

97 フォロー中 220 フォロワー



https://x.com/doboku_gakusei



土木学会RADIO

By 土木学会note支部

土木学会が主催・製作する行事・イベント・講習会です。
note.com/jsce

もっと見る

Spotifyで聴く

<https://podcasters.spotify.com/pod/show/jsce-note>



見える化データ2024 掲載データ

	部門	解説	期間
組織図	総務	2022年時点の土木学会の組織図	
会員数	会員・支部	会員数の推移	1914～
年齢別会員数	会員・支部	年齢別個人正会員数の推移	2001～
業種別会員数	会員・支部	業種別会員数の推移	2015～
海外会員数	国際/会員・支部	海外会員数の推移	2007～
支部別会員数・構成比	会員・支部	支部別会員数、支部別属性別構成比	2022
収入	経理	事業活動別収入	2013～
支出	経理	事業活動別支出	2013～
公益目的事業別収支状況	経理	公益目的事業別の収支状況	2011～
会費収入使途	経理	会費収入使途	2013～
全国大会	総務	全国大会参加者数	1989～
学会賞	総務	学会賞受賞件数	1965～
選奨土木遺産	総務	認定遺産リスト・施設種類別認定件数等	2000～
調査研究委員会活動	調査研究	委員会活動参加者数	2004～
調査研究行事数	調査研究	調査研究部門開催行事一覧	1989～
調査研究定期行事	調査研究	調査研究部門定期開催行事一覧	1989～
論文集通常号	調査研究	論文集通常号掲載件数	2011～
論文集特集号	調査研究	論文集通常号掲載件数	1989～
重点研究課題	調査研究	重点課題件数、助成金額	2003～
刊行物販売	出版	刊行物販売実績（売上額、点数、新規発行）	1989～
図書売上ベスト10	出版	年間売上ベスト10	2018～
図書館利用者	情報資料	土木図書館利用実績	1995～
国内災害調査団実績	社会支援	国内で発生した災害の調査団派遣実績	1998～
海外災害調査団実績	社会支援	海外で発生した災害の調査団派遣実績	1999～

	部門	解説	期間
土木技術者資格	技術推進機構	土木学会認定土木技術者 受験者数・合格者数	2001～
CPDプログラム	技術推進機構	土木学会認定CPDプログラム件数	2001～
土木コレクション	コミュニケーション	土木コレクション開催実績	2014～
国際ジョイントセミナー	国際	国際ジョイントセミナー開催実績	2004～
イブニングシアター	情報資料	イブニングシアタータイトル・来場者数	2001～
メディア掲載	コミュニケーション	各種メディアで土木学会が取り上げられた件数	2004～
記者発表	コミュニケーション	土木学会で行った記者発表・プレスリリース件数	1983～
土木学会誌特集	コミュニケーション	土木学会誌特集タイトル	1962～
論説・オピニオン	企画	論説/論説・オピニオン一覧	2007～
HPアクセス	情報資料	土木学会HPのアクセス数	2008～
facebook	コミュニケーション	土木学会facebookのフォロワー数推移	2012～
教育企画行事	教育企画	教育企画部門 行事一覧	2004～
会長講演・挨拶	企画	会長就任挨拶・会長講演	1914～
会長特別	企画	会長特別活動とその成果	1999～

スライド掲載データ



◆ データは以下URLにEXCEL形式で掲載しています
<https://committees.jsce.or.jp/kikaku/mieruka2024>



公益社団法人 **土木学会**
 Japan Society of Civil Engineers



公益社団法人

土木學會

Japan Society of Civil Engineers